

光市医師会報

昭和51年9月発行

No. 50



目を閉じよ、
そしたらおまえは見えるだろう

(サムエル・バトラー)

光 市 医 師 会

医師会月間行事

- ※ 8月24日(火)月例会 於医師会館
午後7:30
- 報告(連絡事項)事項 (1)第82回周南医学学会について (2)昭和51年度老人健康診査について (3)国保出張受付について (4)産業保険部会担当理事協議会について (5)麻菜担当理事協議会について (6)保険担当理事協議会について (7)諸会開催山口県市部医師会正副会長連絡協議会について (8)公害診療報酬の改定について (9) 医療機関相互間の連繋について
- 協議事項 光市医師会体育大会及び永年

勤続者表彰について

- ※ 9月10日(金) 理事会 於医師会
午後7:30
- 報告連絡事項 (1)諸会の開催(イ)広報担当理事協議会(9月16日)(ロ)第20回周東地区労働安全衛生大会(9月22日)(ハ)請求事務説明会(9月24日於丸福ホテル)(ニ)養護担当者研修会(9月30日市役所)
- (2)昭和51年度対癌研究会に対する助成について (3)生活保護法指定医療機関の指導検査実施について (4)呼吸器疾患調査について
- 協議事項 (1)養護担当者研修会の議題について (2)体育大会・永年勤続者表彰の運営について (3)学校保健会理事会の件

市部各医師会の休日診療・夜間診療の状況

項目 市別	休日診療(含祝・祭日)								
	一日科目別当番	科別年間	勤務時間	月間診療 療件数	救急 件数	出務手当			実施上の困難 点と対策
	医療機関数	勤務回数				医師	看護婦	事務員	
宇部市	内科 1名 小児科 1名 外科 1名	内科 2~3 小児科 2~3 外科 3~4	24時間 内科、 小児科 は午前 9時より 午後 5時まで 休日 診療所 に出務 外科在宅	300名	不詳	内科、 小児科 4万 外科在宅 1万5千	内科・小児科の 出務期間中は、 中職員出務他の 時間は医師の出 務手当に含まれ る		小児科専門医 長不足により 運営に困難を 感ずる。
山口市	外科 1病医院 内科 1病医院	外科 4~5 内科 3~4	午前8:30 午後5:30	平均 526件	外科 13	5,000			
萩市	2~3	外科 4 内科 15 産科 7	24時間	7件	76件	なし	なし	なし	
徳山市	医師会病院 (内科・外科) 在宅 (小児科・産科)	内科 2 外科 4 小児科 12 産科 12	午前9:00 午後5:00	医師会 病院 150件	7-8件	病院 4万×2 在宅 1万5千 ×2	8,000× 2	6,000× 2	なし
防府市	休日診療所 (公営) 内・児 在宅医 外 1	内・児 4 外科 3	午前9:00 午後5:00	内・児 180 外 100	不詳	市営に 限り 25,000	市営に 限り 6,000	市営に 限り 5,000	正月の勤務制 振りに困難を 伴う

下松市	内科系 外科系	1 1	約 5	8時間	約 450	平均 4	20,000	2,000~ 4,000		外科系は必ず した専門医が 在宅するとは 限らず、隘路 となっている
岩国市	内・小 外 科 その他	2 1 1	内・小 外 科 その他 2~4	午前9.00 午後5.00	休日診 療所 約 400 在宅医 約 200	不 詳	休日診 療所 40,000 在宅 10,000 年末年 始 倍	市嘱託	市嘱託	
小野田市	内 科 外 科	1 1	内 科 外 科	午前9.00 午後5.00	250 件	30 件	な し	な し	な し	外科系の負担 が多い。二次 医療機関が ない。現在は 労災病院
光 市	内科系 外科系	1 1	4~5	午前9.00 午後5.00	294 件	82	1回：1医療機関につき 7,500 (年末、年始 15,000)			1.非救急が多い 2.二次搬送が 困難
柳井市	内科系 外科系	1 1	4~5	午前9.00 午後5.00						
長門市	実施していない									
美祿市	全 科	1		午前9.00 午後5.00						
	内科系 外科系 眼 科 産婦人科 耳鼻科	5 3 2 2 2	内 科 4~5 外 科 5~6 眼 科 3~4 産婦人科 4~5 耳鼻科 3~4 外、公立病院 16	午前9.00 午後6.00	不 詳	不 詳	1回 7,500 官公共 病 院 7,500 × 3			看護婦事務員 の確保が困難 公設の休日診 療設置につい て市当局と検 討中、二次病 院の充実を望む

項目 市別	夜 間 診 療 制				
	実 施 し て い な い			実 施 し て い る	
	理 由	今後の方針	そ の 他	方 法	困難点と対策
宇部市	3ヶ所の救急指定病院にて実施、他の医療機関は臨時応需	現状維持の予定			
山口市	会員数の不足とパラメディカルの問題	実施の予定なし			
萩市				輪 番 制	
徳山市	主治医で診療	実施する考えはない			
防市府	会員の負担増のため	時期待ちで対処			
下松市	現在の医師数では実施不可能	実施しない			

岩国市	医師の過労、パラメディカルの問題、翌日の休診代休の問題、患者教育の問題	前向きに検討		
小田野市	小都市で医師数不足	市立病院で何と吸収している		
光市	会員数、看護婦数の不足により実施困難	検討中	主治医により夜間診療1日平均40名程度あり現時点では実施の緊要性なし	
柳市井	医師の負担増になるので実施困難			
長市門	医師数に比し地域の広いため	実施したい		
美市祿				必要の都度診療実施 必要の都度診療している
下市関		公的休日夜間診療所設置検討中		

全国労働衛生週間
スローガン

みんなで見直そう仕事と職場
みんなで作ろう健康なからだ
期間 10月1日より10月7日

1. 趣旨

毎年多数の労働者が業務上疾病にかかっており、また新しい有害物や生産技術の採用及び医学が科学の進展により、新しい職業性疾患の発生や発見が目ざされている。しかも公害問題等を通じて国民の健康に対する意識も格段に高まってきており、今や職業性疾患の対策は、社会的にゆるがせにできない問題となっている。

職場における健康に有害なすべての要因を排除しさらにすすんで働きやすい快適な作業環境をつくりもって労働者の健康の確保と増進を図ることは、労働衛生の基本的な課題である。このため、昨年は作業環境改善の基礎となる作業環境測定法の適正な実施を確保することを目的とした作業環境測定法が制定され、労働安全衛生法と相まって、職業性疾患の発生を未然に防止し、さらに労働者の健康の保持増進を図り、作業環境を適正に形成するための施策の充実が図られた。

本年は、これら両法に基づく施策の一層の推進を図るとともに、有害物の使用状況やその作業実態をふまえ、現在から将来にわたる長期的見通しに立つた労働衛生対策の推進のためにさらに努力をかさねる必要がある。

もとより、労働災害防止の基本は、熱意と科学性に裏づけられた自主的な安全衛生活動の展開にある。

昨年の六価クロム、塩化ビニル等による職業性疾患問題を通して事業場における安全衛生管理活動に対する認識が高まったが、職場における労働衛生対策は、そのトップから産業医、衛生管理者などの衛

生管理グループ、作業場の一作業員に至るまで全員がそれぞれの立場における作業環境、使用原材料、作業方法の見通しを基盤とした自主的衛生管理活動を展開することが肝要であることを再確認しなければならない。本年度の労働衛生週間は、このような考え方のもとに、次のことに重点をおき、新しい観点に立った効果的な運動を展開するものとする。

- (1)原材料の有害性を事前には握するチェックシステムの確立を図ること
- (2)作業環境を測定し、的確な職場評価を行うこと
- (3)作業環境、作業方法の改善整備を徹底すること
- (4)健康診断を完全に実施し、職場毎に作業者の健康状況を把握し、その結果に基づく健康管理を行うこと。
- (5)労働衛生教育を充実すること
- (6)自主的な労働災害防止活動を活発に展開する組織の定着化を図ること。

あ と が き

ものの本によれば、9月の運勢は見込み違いが表面化してからあわてる恐れあり、10月はしびれをきらした方が負け、誤解、トラブルの拡大を防げとある。漠然とした言葉だが日常の生活に一つの教訓的な唆を与えたものであろう。朝夕めっきり寒くなった。北の国には既に初雪の便りをきき、足早に冬がやって来そうである。会員諸兄の御健康を祈る
雨寒や石にもたれて桔梗咲く (みき子)

発行所 光市小周防1663の2林医院内
光市医師会 TEL 0833(91) - 0519
発行者 林 孝之
編集者 会報編集委員会
印刷所 光市御崎町 中村印刷株式会社